

コンテスト参加は県内から全国へ！

秋から冬にかけて多くのコンテストへの応募参加を予定しています。対象世代によって舞台は大きく2つに分かれます。すべて略称の紹介です。

①②③が山口県内のコンテストです。①ジュニアプロコンと②CJのProコンは、小中学生向けの自由創作コンテストです。日頃からゲームやコンテストに慣れ親しんでいる小中学生が個性あふれる面白い作品を作って参加します。③ICTコンテストは、高校生向けの社会や生活に役立つアプリサービスのコンテストです。昨年はAI技術の隆盛もあり、レベルが非常に高くなりました。

④⑤が全国のコンテストです。主に高校生以上が対象で、当塾では昨年から高校生が数名参加するようにしました。全国の猛者との競争の中で受賞するのは至難の業ですが、臆することなく講師と共に挑戦します！



スオウパーティ通信

Vol.0024
2026年
8月号



編集 後記

今年もコンテストの時期がやってきました。ここ数年、県内は向かう所敵なしです。全国レベルの総合的な技術の指導に努めて、3年以内に④テック甲子園の受賞者を輩出したいです。

7月下旬、下松市の花岡小学校と岩国市の東小学校で、原田先生のWSの講師を務めました。県教育庁のこの取り組みも4年目になりました。初心者向けの新しい教材「ときようそう」で、走り方の違う3匹の動作を説明しながら、身近な出来事をプログラミングの仕組みで作れて遊べることを伝えたようです。学校でも家でも引き続きプログラミングして欲しいです。



初のスクラッチデイ 3会場39組が参加
8月2日、山口県内3つのCoderDojoのオンライン共催「やまぐちスクラッチデイ」が開かれ、初心者含め多くの子どもたちが参加しました。アンケートでは次回も参加したい声が大多数で満足度が高かったようです。運営チームは、もっと相互の交流と理解を促す仕組みを取り入れたいと次回の改善点を挙げています。詳細なレポートは公式サイトをご覧ください。